

編集後記

『事業承継』第11号をお届けするにあたり、ご投稿いただいた方々に感謝いたします。

本誌は号を重ねるごとに掲載記事が充実し、今号は査読付論文、特別寄稿論文、研究ノート、およびケースのほか、年次大会、東京研究会、および京都研究会の各報告を掲載いたしました。こうして日頃の会員諸氏の活動を隈なく掲載した結果、今号の記事数は過去最多の24記事となり、総ページ数も200ページを超えることとなりました。

さて今号の研究内容に目を向けますと、女性後継者に焦点を当てたものが増加したように見受けられます。特集2に掲載した東京研究会のテーマとなった「事業承継における女性の果たす役割とは」では、特に金銭的な承継よりも経営理念や信用、人材、ノウハウなどの承継の重要性についての検討がなされました。また小林・小松両氏の研究ノートでは、女性後継者には女性起業家と異なる課題があることが報告され、中でも事業承継における親世代の意識や姓といった女性特有の課題が指摘されています。

加えて、近年では事業承継教育についても活発な議論がなされています。年次大会の「事業承継者の早期教育モデル提案」においては、創業家を対象とした早期の経営教育の必要性が提案されています。また年次大会の教育セッション「経営教育は事業承継に役立つのか？」では、事業承継教育における学会の果たす役割として、事業承継に関連した経営課題をケースとして蓄積し、研究者や実務家の知識基盤として共有する必要性が高い点が指摘されました。

本誌の編集にあたり、研究の焦点が女性による事業承継や後継者教育といった国際的な経営管理教育の潮流と一致している事を実感しています。

冒頭に述べましたように、今号は会員諸氏の一年間の研究成果を余すところなく掲載いたしました。本誌が、事業承継に直面している全国の企業家の指針となることを願ってやみません。

栗本 博行（名古屋商科大学ビジネススクール）

『事業承継 Vol.11』編集委員

栗本 博行（委員長）
林 廣茂
落合 康裕
太宰 北斗